

平成 29 年度事業計画書

公益財団法人熊本市美術文化振興財団

【財団の目的】

美術をはじめとした文化芸術に関する調査研究、教育普及、展覧会事業等を基礎とし、美術館等の活発な管理運営を推進することを通じて、教育や福祉の充実、産業の活性化、地域の再生など様々な分野において、文化芸術の持つ創造性を活用し、心豊かな市民生活を実現するとともに都市の活力と魅力を高める、熊本市のまちづくりに寄与することを目的とする。

【財団の目的を達成するための事業】

- (1) 美術館等における文化芸術の調査研究等事業
- (2) 美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業
- (3) 美術館等における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業
- (4) 前1号から3号の事業を行うための美術館等の管理運営
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

= 熊本市からの受託事業 熊本市現代美術館の指定管理業務 =

【熊本市現代美術館の設置目的】

市民が美術文化を享受するとともに、美術に関する知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与すること

【熊本市現代美術館の管理にあたっての基本理念】

- (1) 現代美術を中心とした美術館として、国内外の水準の高い、又は親しみやすい企画展を開催し、市民に鑑賞機会を提供するとともに、美術の調査研究と地域に根ざした教育普及活動を実施する。
- (2) フロアをゆっくりすごせる空間として開放し、市民が気軽に足を運ぶことができる地域に開かれた親しみやすい美術館を目指す。
- (3) 表現活動を続ける地元の芸術家を応援する美術館として、発表の機会を提供するとともに、市の美術文化を国内外に向けて発信する。

【基本理念に基づき、財団がめざす、熊本市現代美術館の方向性】

1. アートの力を見せる 一惹きつける、変える
2. アートへの愛情を育てる 一根づく土壤をつくる
3. アートで人をつなぐ 一アートで都市をデザインする

1. アートの力を見せる 一着きつける、変える

(1) 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関する業務 [公2]

ア 事業内容1,2,3,4、ア 公表方法1,2,3、イ

- ① 熊本市の作品収集に伴う予備調査及び報告 (ア 事業内容1,2)
- ② 熊本市所蔵作品の管理・保管・貸出等業務 (ア 公表方法2,3 イ)
- ③ 美術品の貸出・借入業務委託に関する管理の徹底 (ア 事業内容4 イ)
- ④ 作品保存等の知識向上を目的としたIPM研修等の開催 (ア 事業内容4)
- ⑤ 魅力的な展覧会の企画・開催業務 (詳細は(5)記載)

(ア 公表方法1 [公1 (2) ア])

(2) 特別利用の許可、取消、停止命令に関する業務 [公2 (2) ア 公表方法3]

- ① 美術品等の特別利用許可に関する業務一般

(3) 美術に関する調査及び研究に関する業務 [公2]

1) 現代美術及び美術館活動に関する調査研究 ア 事業内容1,2,3,4

- ① 展覧会の企画に伴う調査研究
- ② 現代の文化・芸術に関する専門的研究
- ③ 美術館活動に関する専門的研究
- ④ 地元の美術品・作家等に関する調査研究
- ⑤ 文化・芸術と美術館が都市の中で果たすべき役割に関する調査研究

2) 美術館・大学その他研究機関等との情報交換や共同研究の実施及び成果の公表

ア 公表方法1

(4) 借入作品の調査研究及び点検事業 [公2] ア 事業内容4

- ① 借入作品の調査研究事業
- ② 借入作品の点検事業等

(5) 展覧会の企画・開催等に関する業務 [公1]

1) メインギャラリーでの展覧会開催 アー1、エ

《目標入場者数：69,000人》

①	高橋コレクションの宇宙 4月8日（土）～6月11日（日）	<目標入場者数：12,000人>
	「高橋コレクション」とは、精神科医・高橋龍太郎氏によって収集された、1990年代以降の日本現代アートを主軸に据えたプライベートコレクション。草間彌生の1枚の作品から始まり、今も広がり続ける高橋コレクションの中から、初公開も含む44作家、約180点をご紹介します。	
②	三沢厚彦 アニマルズ 2017 in 熊本 6月24日（土）～9月3日（日）	<目標入場者数：18,000人>
	樟（くすのき）の丸太から掘りだされた等身大の動物たち。日本を代表する現代彫刻家、三沢厚彦の生み出す動物たちは愛嬌たっぷりでありながら、圧倒的な存在感を放っています。本展では、最新作を含む彫刻作品と絵画、約100点のアニマルズとの出会いをお楽しみください。	
③	開館15周年記念 誉（ほまれ）のくまもと展 9月16日（土）～12月3日（日）	<目標入場者数：16,000人>
	2016年4月の熊本地震を受け、熊本ではすべての市民が傷つきながらも復興に向かい、未来に向かっています。開館15周年を記念する本展においては、「熊本の歴史と未来」をテーマに、現代美術作家達による熊本に因んだコミュニケーションワークや当館が主たる研究を行う生人形研究成果を紹介します。また、本展を通じて復興への福音響く熊本を全国に発信します。	
④	熊本城×特撮美術 天守再現プロジェクト 12月16日（土）～3月18日（日）	<目標入場者数：20,000人>
	2016年4月の熊本地震で大きな被害を受けた熊本城。まだまだ復興には時間の掛かる熊本城ですが、今回、特撮美術の技術を駆使して、ミニチュアの熊本城（大・小天守閣と宇土櫓）と城下に広がる街なみの景色を制作していただけたことになりました。市民の心の支えでもある熊本城に想いを馳せ、その復興を応援しましょう！	

	第29回熊本市民美術展 熊本アートパレード
	3月31日（土）～4月15日（日） <目標入場者数：3,000人>
⑤	平成元年に始まり、29回目を迎える市民のための美術館。 著名なアーティストによる審査と、すべての作品を展示するアンデパンダン形式が特徴。 市内在住、勤務、出身の高校生以上の方なら誰でも無料で出品できる公募展を、市民の文化の創造と発表の場として実施します。

2) 井手宣通記念ギャラリーでの展覧会開催 アー2

- ・井手宣通の作品を中心に収蔵作品を紹介・展示

3) ギャラリーⅢでの展覧会開催 アー2

- ① 熊本または九州ゆかりのアーティストや文化にスポットを当て、応援する展覧会

- ・「有田巧」展 他

- ② 熊本ならではの文化や歴史の魅力を再発見する展覧会

- ・「みんなの家 in アートポリス」展 他

- ③ 地震関連展示

- ・「3.11・4.14・16 アート・建築・デザインでつながる 東北↔熊本」展

- ・「熊本市被災文化財のいま」展 他

4) エントランス・階段ギャラリー等への作品展示 アー3

- ① 収蔵作品の市民への公開、子どもの作品展示

- ② まちづくり関連展示

- ・わたしのマチオモイ展（わたしのマチオモイ帖制作委員会共催）

- ③ 地震関連展示

- ・「被災からの声」パネル展示（NHK 熊本放送共催）

5) 次年度以降開催予定企画展の企画・準備 アー1,2,3

- ① 収蔵作品の市民への公開、子どもの作品展示

2. アートへの愛情を育てる 一歩づく土壤をつくる

- (1) 講演会、講習会、講座等の企画・開催等に関する業務 [公1] ウ
- ① アーティスト・トーク
・展覧会の出品アーティスト自らが展覧会や作品について語るトークショー
講演者：坂本夏子（出品作家）
日 時：4月8日（土） 他
- ② レクチャー・カレッジ
・展覧会担当学芸員や館長が、展覧会の見どころやエピソード等について語る講演会
講 師：担当学芸員
日 時：4月23日（日） 他
- (2) 図録・案内書等の作成及び頒布に関する業務 [公1] アー1,2
- 1) 展覧会の解説書等の作成及び頒布
- ① 館内アートワーク解説等
② 展覧会内容解説ワークシート等
- 2) 展覧会図録等の作成及び頒布
- 3) 情報誌及び事業報告書等の作成及び頒布 [公3]
- ① 美術館情報誌「アートキッスレター」（年4回程度発行）[公3] イー2
② 報告書・紀要「アート・ガマダス」（年1回発行） 他 [公2] ア 公表方法1
- (3) 芸術鑑賞・参加等イベントの実施 [公1] イ
- ① 美術に限らない表現活動の発表
・コンサート・パフォーマンス等の開催
- ② 地域活動への協力、地域との協働事業の実施
・ワークショップ等の開催（詳細は3—(5)記載）
- (4) 美術等の普及並びに市民の創作活動等の指導及び助言に関する業務 [公3] ア
- 1) 作品解説
- ① ギャラリーツアー、プレママ&ファミリーツアー等
② ワークシート等の作成
③ 館内施設等を案内する団体見学（事前申込制）
- 2) 創作活動等への支援
- ① 創作ワークショップ等の実施
・高橋コレクション展ワークショップ
「現代美術は怖くない！くじ引き制作で誰でもアーティスト」
講師者：青山悟（出品作家）
日 時：4月29日（土・祝） 他

3) 子どもを対象とした企画

① 体験型ワークショップの実施

- ・「凧制作・凧揚げワークショップ」

制作：4月1日（土）、9日（日）

凧揚げ：4月15日（土）

② 熊本市教育委員会及び市内小中学校との連携

- ・アートバス事業（市内小学校の1学級～1学年程度：年間5～6校程度）
- ・出張授業や出張ワークショップの実施（学校から相談・要請に応じて実施）
- ・1年生ようこそカードの発行（新1年生全員に美術館の使い方を書いたパンフレットを配布。持ってくると大人一人が無料となる。）
- ・階段ギャラリーの利活用（作品の展示）
- ・団体見学　他

4) 人材育成

- ・学芸員実習等の受け入れ

(5) 美術及び美術館に関する情報の収集及び提供に関する業務 [公2] ア 公表方法4

- ① ホームギャラリー・アーツカイギャラリー等における情報提供
- ② ホームページ、館内等における収蔵品情報や美術関連情報の提供

3. アートで人をつなぐ　－アートで都市をデザインする

(1) 美術館の管理に関する基本的業務 [共通]

- 1) 来館者が快適に過ごせるサービスの実施及びサービス向上のための工夫
 - ① 基本的サービス
 - ・利用者の平等な利用の確保
 - ② 来館者へのサービス向上及び館内ホスピタリティの充実
 - ③ 安定した施設管理能力の確保
 - ・職員の資質向上（研修等）
 - ④ 来館者アンケート、モニタリングの実施
 - ・利用者ニーズの把握と反映
 - ⑤ 市との連絡調整、苦情対応　他

(2) 美術館の使用許可、取消、停止命令に関する業務 [収益]

アートロフト、会議研修室の使用許可に関する業務一般

(3) 美術館の施設維持管理に関する業務 [共通]

- 1) 美術館施設維持管理業務
 - ・設備等日常管理業務
 - ・有人警備業務
 - ・清掃業務
 - ・映像、調光、放送設備等保守管理業務
 - ・セキュリティ設備・監視カメラ等保守管理業務
 - ・防火・防災対象物定期点検業務
 - ・美術情報システムリース及び保守管理業務
 - ・施設賠償責任保険・ガラス保険の付保
 - ・アートロフト手動式昇降ステージ保守点検業務　　他
- 2) 美術館施設修繕等業務

(4) 美術及び美術館に関する情報の収集及び提供に関する業務 [共通]

- 1) ホームギャラリー・アートスカイギャラリー等における情報提供
- 2) 広報活動の充実
 - 美術館リーフレット、年間スケジュール等の作成及び頒布
- 3) ITC の活用（HP・Twitter・facebook 等）

(5) 美術等の普及並びに市民の創作活動等の指導及び助言に関する業務 [公3] イー1,3

1) 文化活動等の支援

- ① 熊本復興応援事業への協力
- ② 熊本県立劇場アートキャラバン等への協力
- ③ アートNPOへの後援 等

2) ボランティア活動の支援

図書チェック、布絵本、発送、資料整理、イベント補助、ピアノ演奏等

3) 交流機会の促進

① 街なかのくつろぎ空間

赤ちゃんからお年寄りまで気軽に立ち寄れる施設（ホームギャラリー、アートスカイギャラリー等）の充実
・子そだてひろば運営協力及び、ワークショップの協働開催等

② 文化活動を通した市民交流の拠点施設

エントランス等の利活用

- ・ミュージック・ウェーブ（音楽関係：コンサート）
- ・月曜ロードショー（映画関係）
- ・詩や文学の朗読会（文学関係）
- ・人形劇、紙しばい、読みがたり 等

③ 中心市街地のにぎわい創出

地域活動への協力、地域との協働事業の実施 他

- ・中心商店街等との連携・協働事業

ストリートアートプレックスの協働開催

上通アートプロジェクトへの協力

- ・大学との連携・協働事業

= 自主事業 - 1 =

(6) アートによる他分野政策の推進・補完 [公3] イー3,4

- 1) 行政や民間の異分野が持つ課題に対して、アートが発揮する効果や可能性についての調査研究
 - ・災害時における美術館の役割と使命（仮）
- 2) 行政や民間のアートを活用した事業への協力
 - 熊本市文化振興課、熊本城調査研究センター、にぎわい推進室
 - ・熊本市被災文化財の紹介（熊本市文化振興課）
 - ・熊本城復興状況の紹介（熊本城調査研究センター）
 - ・火の国まつりプレイベントおばけやしきの開催（熊本市にぎわい推進室）

= 自主事業 - 2 =

(7) 熊本市が実施する「芸術文化を活かしたまちづくり」への協力（文化振興課）[公3]

ア－1,3、イ－3,4

- 1) 市の文化政策についての協働検証（熊本市芸術文化会議の共働運営）
- 2) 子どもたちが芸術文化活動（美術・音楽・演劇・ダンス等）に親しむための教育現場との連携事業（出張授業、出張ワークショップ（アウトリーチ）等の共働開催）
- 3) アートを活かしたまちづくり推進事業
- 4) 東京キャラバンへの協力

他

= 自主事業 - 3 =

(8) 外部委員による美術館運営審議会 [公3]

イ－4

- 1) 外部委員による審議会
- 2) 外部委員による視察
- 3) トーク・ワークショップ

他